

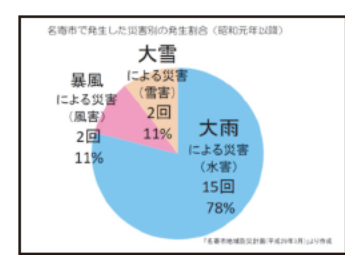
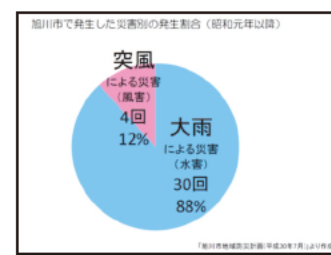
授業のワークシート
年 組 番
名前 ()

【本時の課題】

自分たちのまちや日本で起きた自然災害について調べよう。

→ まず、自然災害（自然発火による山火事など）と人的被害（放火、交通事故など）との違いを確認する。

1. 【①-1 これまでに発生した自然災害のグラフ】を見て考えましょう。 …【展開Ⅰ】



【解説】

○自分たちのまちでは、どんな自然災害が発生していると思いますか？

大雨、暴風、大雪などによる災害

1'. 【①-2 自然災害の写真】を見せる。



(大雨) (大雪) (竜巻)
(昭和56年水害) (平成24年雪害) (平成22年風害) による災害

⇒ これまでに一番多く起きている災害は、(大雨) による災害です。

2. 【①-3 日本の災害映像】を見て考えましょう。 …【展開Ⅱ】

○日本では、どんな自然災害が発生していますか？

2'. 【①-4 日本の災害写真】を見せる。



(地震) (津波) (噴火) (土砂くずれ)
(平成7年 阪神淡路大震災) (平成23年 東日本大震災) (昭和63年 十勝岳噴火) (平成30年 胆振東部地震)

これらの自然災害は、なぜ発生しているのでしょうか？

地震、津波、噴火、大雨、土砂くずれなどによる災害。日本は山がちな地形で、地震が多く、台風の通り道になりやすい場所にあるため。
→ 日本では様々な災害が起こることを気付かせる。

3. 日本で発生した自然災害について、教科書で学習しましょう。

⇒ (自然災害) の発生を

人の力でおさえることはできません。

【学んだこと】 …【終末】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：自分たちのまち、日本、自然災害】

例：自分たちのまちでは、大雨以外にも暴風、大雪などによる自然災害が起きている。日本では、大雨以外にも、地震、津波、噴火、土砂くずれなどによる災害が起こることがある。

授業のワークシート

年 組 番
名前 ()

1. 【②-1-1 被害の映像】を見てみましょう。 …【導入】



→ 自分の地域で水害が起こる可能性があることに気付かせる。

【本時の課題】

水害に備えて、「情報の集め方」と「避難時の行動」を考えよう。

2. 【②-1-2 大雨時の映像】を見てみましょう。 …【展開Ⅰ】グループワーク①



→ 台風時の流れをイメージさせる。
水害から自分の命を守るための行動を考えさせる。

○大きな台風が近づいてきて外ではいつもと様子がちがう大雨がふりつづいて
います。風も強くなってきました。みなさんは家にひとりです。どうや
って情報を集めますか？

テレビをつける、ラジオ・防災無線を聞く、インターネットで調べる。

→ 災害に備えるには、まず、今、何が起きているのか、情報を集めることが大切
であると気づかせる。

3. 「避難して下さい」という情報が入ってきました。

【②-1-3 避難指示の音声】を流す。 …【展開Ⅱ】グループワーク②

○どんな行動をとりますか？

ひなんする。ひなん所に行く。

高いところへにげる。 高い建物へにげる。

→ 災害に備えるには、早めに避難することが大切であると気づかせる。

※ 緊迫した状況であることを感じさせるため、制限時間を設けて進めると良い。

4. 水害に備えて、「情報の集め方」を確かめましょう。 …【展開Ⅲ】

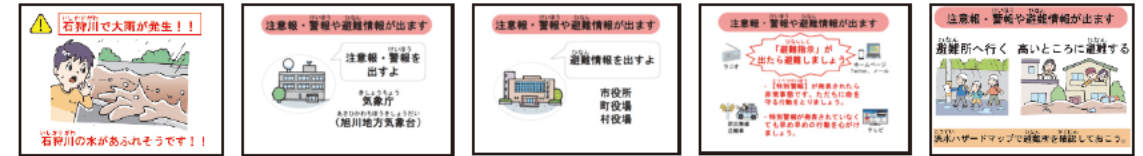
→ 情報の集め方を教え、自分で災害情報を集められるようにする。

※【②-1-4 補足教材1：NHKd ボタンの使い方】等を参考に、地域の状況に応じて指導する。

5. 水害に備えて、「避難時の行動」を確かめましょう。 …【展開Ⅳ】

→ 避難所まで逃げられない状況の時には、高いところや高い建物に逃げることを理解
できるようにする。

【②-1-4 水害から自分の命を守るための行動（板書用）】を見せる。



【②-1-5 水害から自分の命を守るための行動（配布用）】を配る。



【学んだこと】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：大雨、情報、逃げる】

例：大雨が降り続いたら、テレビやラジオ等から情報を集める。

集めた情報の中に「避難」が出ていたら、すぐに逃げる。

授業のワークシート

年 組 番
名前 ()

1. 【②-1-4 水害から自分の命を守るための行動】を思い出してみましょう。…【導入】
→ 「情報の集め方」と「避難時の行動」を振り返る。

【本時の課題】

水害に備えて、「避難する時に気をつける場所」について考えよう。

2. 【②-2-1 避難ルートのイラスト】を見て考えましょう。…【展開Ⅰ】グループワーク①



→ 避難するときにどんな場所を通過してはいけないのかを考える。
※ イラストを用いることで、他の地域のどこにいても対応できるように、一般化して考えさせる。

- 避難する時に「どんな場所」が「なぜ危険なのか」理由も考えて書いてみましょう。

水があふれそうな場所、土砂くずれが起きそうな場所、

水につかっている場所、水がつかりそうな場所。

3. 【②-2-3 防災マップ】で自分の地域の避難所を調べてみましょう。…【展開Ⅱ】



注：【防災マップ】には、対象河川（石狩川、天塩川および主な支川）のみの洪水浸水想定区域が示されており、それ以外の中小河川の洪水浸水想定区域は反映されていないので、注意が必要です。

4. 【②-2-4 川があふれたときの水深】や【②-2-5 水深がわかる実物大イラスト】を見て考えましょう。…【展開Ⅱ】グループワーク②



※ 地域の情報を用いることで、身近な場所で、大雨のときに危険になりうる場所を学ぶ。

○50cmの水がまちにながれこんだら、どんなことが起こると思いますか？

道を歩きにくくなる。道を通れなくなる。

→ 自分の地域で災害時にどうなるか（浸水深）を知り、実際の災害時にどんな危険があるかを考える。

5. 【②-2-6 水の力の映像】を見てみましょう。…【展開Ⅲ】

【②-2-7 命を守る防災教育イラスト】を見せて解説する。



→ 川から溢れた水はにごって足元が見えないこと、流れがあり歩きにくくなること、水深があるところではドアが開かなくなることなど、大雨時に危険なことを理解できるようにする。

【学んだこと】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：大雨、川の水、避難】

例：水害が起きるとまちが水につかったり、いつも通る道が通れなく

なったりするかもしれないことがわかった。大雨が降り続いた時は、自

分の命を守るために、川の水があふれる前に避難する。

⇒ このように、早めに避難するなど、自分で自分の身を守ることを、

（ 自 助 ） といいます。

授業のワークシート

年 組 番
名前 ()

1. 【①-2 日本の自然災害の^{さいがい}写真】を思い出してみましょう。 …【導入】

【本時の課題】

自然災害からわたしたちの暮らしを守るための取り組みについて調べよう。

2. 【③-1-2 水害から暮らしを守る^{しせつ}施設カード】を使って調べましょう。

【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト】を見せる。 …【展開Ⅰ】グループワーク

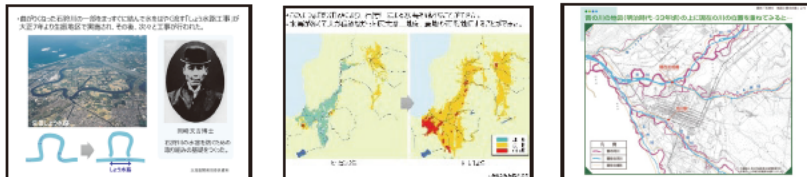


→ 施設写真と説明のカードを組み合わせながら、水害から暮らしを守る様々な施設があること、それらの役割を学ぶ。

【③-1-2 水害から暮らしを守る^{しせつ}施設カード】を配る。



3. 【③-1-3 先人たちの取組、③-1-4 昔と現在の旭川市】を見てみましょう。 …【展開Ⅱ】



→ 私たちの地域を守るために、先人が取り組んできたこと、この取り組みによって、石狩川周辺に住む人々の暮らしに恵みをもたらしていることを学ぶ。

4. 自然災害から暮らしを守る^{しせつ}施設について、教科書（P44, 45）で学習しましょう。

【③-1-5 自然災害から暮らしを守る施設の^{さいがい}写真】を見せて学習する。

…【展開Ⅲ】



砂防ダム

ぼうしきく
防止柵

ひがいよそく ひょうしき
被害予測の標識

↓
(土砂くずれ)

↓
(なだれ)

↓
(大雨) による^{さいがい}災害から、

わたしたちの暮らしを守ります。



ほうすいる
放水路

ひなん
避難タワー

↓
(大雨)

↓
(津波) による^{さいがい}災害から、

わたしたちの暮らしを守ります。

【学んだこと】

…【終末】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：自然災害、^{さいがい}施設、^{しせつ}暮らし】

例：先人たちが作った^{しせつ}水路などの施設のおかげで、水害などの

自然災害から私たちの^{しせつ}暮らしが守られている。

⇒ このように、国や都道府県、市町村などが行う公共事業によって、

暮らしが守られていることを、(公助) といいます。

授業のワークシート

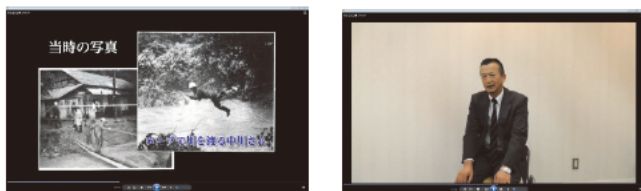
年 組 番
名前 ()

1. 【③-1-1 水害からくらしを守る施設】を思い出してみましょう。 …【導入】

【本時の課題】

さいがい
自然災害からくらしを守るために自分たちにできることを考えよう。

2. 【③-2-156 水害のインタビュー映像】を見てみましょう。 …【展開Ⅰ】



○インタビューでは、誰が何をしていましたか？メモをとりながら見ましょう。

例：消防署、消防団、自衛隊で、約 18,000 個の土のうを作って水を止めた。町内会の人たちと協力して側溝の土砂をかきだした。

→ 地域の水害を経験した人や災害対応活動を行った人の言葉をとおして、実際の水害時の状況について学ぶ。

3. 【③-2-2 水害から地域を守るためにはたらく人たち】を使って調べましょう。



⇒ このような、国や都道府県、市町村の取り組みのことを、

(公 助) といいます。

4. 【③-2-3H28 台風のインタビュー映像】を見てみましょう。

…【展開Ⅱ】



→ 「自助」、「公助」に加えて「共助」について学ぶ。

○インタビューでは、誰が何をしていましたか？メモをとりながら見ましょう。

例：小学生が避難所で食べ物を配るのを手伝った。

高校生が、水害で汚れた家の片づけを手伝った。

→ 地域の水害を経験した人や災害対応活動を行った人の言葉をとおして、実際の水害時の状況について学ぶ。

⇒ このように、人のためにできることをし合って助け合うことを、

(共 助) といいます。

5. 【③-2-4 自分たちにできること】を使って考えましょう。

(教科書 P46, 47) → 避難場所の確認や防災グッズの用意など、災害が起きた時にいち早く避難できるよう普段から心がける事や、防災訓練の参加など地域との関わりなどへと導き出す。



…【終末】

【学んだこと】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：自然災害、防災、助け合い】

例：自然災害からくらしを守るため、同じまちに住む人と助け合い、防災に取り組むことを共助と言います。

⇒ 自助、公助、共助によって、

自然災害による被害をできるだけ減らそうとする考え方のことを

(減 災) といいます。